

五郎沼通信



第16号 平成29年5月発行

この通信は、五郎沼の桜や周辺環境を守りながら、五郎沼の活用方法や今後のあり方を地域の皆さんと考えるために発行します。
(発行部数:200部)

発行者：「五郎沼の桜を守る会」
事務局 瀬川峰雄
紫波町南日詰字小路口70-1
電話：019-672-2656 (FAX兼用)
携帯：090-2270-6771
m-mail：segawa@mineo.jp
Pcmail：shiwajokaso@crest.ocn.ne.jp

五郎沼の桜今年は2週間楽しめました

今年の桜はゴールデンウィーク中までの長い期間楽しむことができました。左写真は八分咲きの4月24日の早朝ですが、この数日後が満開でした。ご承知の通り、五郎沼の桜は、特に晴れた日の早朝の風のない時間帯で



水面鏡の入口付近



昨年の秋に植樹したソメイヨシノですが、いくつかの小さな花びらが見えましたので、根が付いたんだと安心しました

は、水面鏡で桜が倍楽しめるようになっていきます。今年も大変多くのカメラマンが、撮影を楽しんでいました。しかし、4号線沿い東堤体は整備がまだでクルミの木が多くあり、水辺のコントラストが良くありません。大変手間ですが、早めのクルミの木の伐採が必要なのです。



クルミと笹だらけの東堤体

五郎沼のクルミ(鬼グルミ)幹 いりませんか？

4月9日に例年通り五郎沼周辺を地元(小路口・箱清水地区)住民さんで環境整備をしました。

古代ハス池では、今年の枯れた茎の除去と池周辺の整備をし、隣の蓮池拡大予定地の除草も行いました。



ハス池に入るとドロだらけです



きれいにハス茎を取りました

また、2月に伐採した桜とクルミの枝を焼却しました。そして、クルミの幹部分はボランティア「間伐運び隊」にて、片寄のチップ工場(チップ化してオガールにあるボイラー燃料にする工場)に運んでもらう予定でしたが、「鬼胡桃」は硬くチップ化が難しいとのことでした。「もしかして、彫刻家が



駆逐していたクルミを整理



桜とクルミの枝の焼却



クルミ幹はこの大きさです

使うかも？」とも言われました。

全量処理は簡単でないと思いますが、冬場の、薪ストーブなどで使用しても良い方を募集しています。自然乾燥しておりますので、お知り合いの方、どなたでも宜しいので一報お願いします！
※軽トラ3台分くらいはあります

◎オニグルミの薪の「とある評価」

銃床や複葉機のプロペラなどになるような材は丈夫で軽いので、熱量は低いと思っていたが、クヌギ並みの脅威の成績を残した。推測だが、カリウム含有量が非常に多く、触媒作用が強くと出た可能性もあるかも。

